

# 琉球大学学術リポジトリ

## 小学校入学をひかえて

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-05-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 喜納, 澄子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/19654">http://hdl.handle.net/20.500.12000/19654</a>



# 小学校入学を ひかええて

春の訪れと共に入学期が近づいて参りました。

多くの御家庭で、幼稚園、小学校或いは中学へとそれぞれ入学の準備にお忙しい事と思います。それで今月は入学前のお子さんをお持ちのお母様方のために特に気を配っていたぎたい事を一寸申し上げて見たいと思います。

小学校は普通満六才で入学する事になって居りますが同じ六才と云つても早生れの子と遅生れの子では約一年近くも差のある事があり正確にいへますと一学年は六才児と七才児が一緒になつて居る事になります。この小さい時の一年近い差は非常に大きいので本当でしたら、せめて一、二年生だけでも在れ月にしたがつて半年づつに分けて教育した方が理想的なのですが現状では致しませんし、しかも普通一組の人数が五十名から六十名近くも居りますので、早生れで知能の進んだ子と遅生れで普通の子では仕方の差は二年位でも知能の面では三才以上の差がある事珍らしくありませんに、これが一組になつて同じ事を学んで行くのですから、これは本人にとつても大変な事です。でなく、受け持つ先生にとつても又親にとつても負担な事ですから、そういう欠陥を少しでも補うように努力しなければなりません。今ではそういう風に考える方は少いと思いますが、以前は教育は小学校入学からはじまるのだとか、人生の門出は小学校入学の時にあるという風に考えられて居り、それ程入学が重視されて居りました。今日では教育の最も大切な時期は幼児の頃という事はよく理解されて居ると思いますがしかし、私達が自分やまわりの人を見まわして考えて見ても、小学校時代の影響はか

なり強く残つて居ります。ことに小学校入学当時の喜びや不安は、そのまゝ同じような機会にぶつかる度にくりかえされる事が多いといわれます。

つまり小学校入学を不安で迎えた子どもは中学入学、高校入学又は社会への一歩をふみ入れる時、その度に不安の方がつよくなつて行く。反対に明るい気持ちで二年生になつた子どもは、それからの新しい社会へのふみだしにしても、わりあいに不安を感じないで、むしろ希望をもつて将来を迎える事が出来るといわれます。勿論長い年月の間にはいろいろな条件も加わつて参りますし、すべての人がそうしたとは限りませんが幼い時の感情はかかなり奥深く、しみ込んでぬけないものです。

入学直前の子供の共済の特徴といえますと、それは未知のものに対する不安と将来に対する希望であるにちがひありません。これは今迄幼稚園や保育園に通つていた子供はまだいゝとして家庭ですつと大きくなつた子供の場合は、特に強いように思われます。何しろ学校というものがどんなものであるか全く知りませんので、まわりの人のいう事からそれを知るわけで小学校三年生頃迄は何でも聞いた事を喜ぶようにも、お母さまやその他の人の話し方で学校に行く事を喜ぶようになるし、こわがるようにもなります。又子どもは見ただけで物を判断します。例えば校舎のきれいな学校は立派だと思ひ、見た所がよくない学校はいやな学校だと思ひがちで、そういう事から学校を楽しみにしなくも事がありますので子どもの前で学校の話をする時は余程気をつける必要があります。先生に

つては特別に偉い人だと教える必要はないと思いますが、教えていたゞく先生は愛情をもつたい、先生だという風に感じさせておく事は子どもの入学の不安をすつと少くするでしようし入学後においても先生のおつしやる事を素直に受け入れる事が出来るようになります。そういう事から「先生に叱られる。」というおどかし文句は絶対に云わない方がよいのです。又入学前に相当の字を覚え読めるようにならなければいけないというので、いやがるのを無理に教え込もうとなさる方がありますが子供がいやがるのは必ずしも頭が悪るいからとか、勉強が嫌いだとかの理由よりも、他の事に余りにも興味が強くて字にかまつて居られない場合が多いのですから入学前には自分の名前がよめ又書けるようでしたら、それ以上強制的する必要はないと思ひます。数については入学前に十ぐらいの加減、つまり、たしなり、引いたりの答が出来れば、いいのです。計算の出来ない子の中には数に対して恐怖観念をもつている割合が少くありません。若しそういう様子が見えましたら暫くはその子の出来ないような問題は出さないで、よく教えられるところ迄を教えさせよくわかつて居る数にだけつてやり、自分でもある所迄はちゃんと出来るという自信をもつようになりましたら、次第に一つづつ増して行くようなやり方で気長に導くとよいでしよう。

入学前の特別のしつけがあるわけではありませんが一応次の事を御一緒に考えて見ましよう。

- ① からは充分たえられるように発達して居るでしようか。
- ② 知能の方は特におかれている事はないうでしようか。
- ③ しつけの面ではどの事が出来るでしようか。

(イ) お手洗ひに行く事や後のしまつて二人で出来るでしようか。

(ロ) 食事の時自分で、おべんとうをひろげ食べた後をちゃんと片づける事が出来るでしようか。

(ハ) 規則正しく寝る習慣がついて居るでしようか。これらがついていないと入学という新しい出来事のために、よけい疲れていろいろな面に故障がおこつて参ります。

対人関係のしつけは

(イ) 自分の物と他人のものとの区別が出来ているかどうか  
(ロ) 自分のものを自分でしまつてくせがついていて、  
よいか。  
(ハ) 他人にきかれた事に対して簡潔な返事が出来るでし  
ようか。

又交通規則を覚え気をつけて往來を早く練習は出来て  
いるでしょうか。この場合、三分や五分は遠廻りをしても安全な道を選  
らばせる事です。

さていよいよ入学しましたら何よりも子供の健康第一に考  
えて気をつけてやりましょう。

入学当時の子どもは非常に緊張し子供なりに随分気を使つて  
居りますので大変疲れるはず。しかし子供は未だ自分の身  
体を自身で調節する事は出来ませんので、家庭に帰つてから、  
開放感も手伝つて、よけいに騒ぎがちですが、そのために疲  
れすぎたり、又夜ねつかれなかつたりする事のないように家族の  
人で気をつけて、なるだけ身体をやすめるようにして上げると  
同時に栄養にも充分気を配り、栄養価が高く消化のよいもの  
しかも偏食におちいる事のないように、いろいろな食品をとり  
合わせて与えるようにしたいものです。幼児の食事は大人と同じ  
ものを与えるのも仕方ありませんが出来ましたら大人のもの  
のより、淡いお味にし成長期にある、この時代の子供の發育に  
必要な蛋白、脂肪、無機塩類を特に与えるようにします。

## 瓜類の栽培技術

(二)

### 二、南 瓜

1 適地、南瓜が適地としての条件はあまり肥沃でないとい  
うことである。南瓜は割合粗放栽培でもよく成育し、病虫害、乾

このころは毎日に消耗するエネルギーを補つただけではなく、成  
長のためにも余分に必要としますので三度の食事だけでは充分  
摂取出来ない場合がありますから、おやつは子供にとつて是非  
必要なものとなって来ます。しかしおやつを与えずに次のお  
食事が進まなかつたりする事のないように。おやつの分量はむ  
つかしく云いますと一日に与える総熱量の15%以下という事にな  
りますが、とにかく次のお食事に影響がないように、種類も  
蛋白とか脂肪よりも、ビタミン類炭水化物、カルシウム類、  
それに水分を沢山与えるようにするとよいわけで果物等は一番  
適当です。

入学当時は出来るだけ早く先生やお友達になじむようにお食事  
の時や一家団らんの時には学校での出来事をお話させるとか  
失敗した事があった場合には勇気づけてやつたりして皆が自分  
の学校に興味を持つている事を感じさせるようにしますと子供  
は学校の事を喜んでお話ししがりますから、それによつて  
学校における子供の存在を知る事が出来、正しい指導が出来る  
と思ひます。学校でなかく友だちと遊べるといふ事は子供の  
社会性の大きな進歩を示すもので、この方面の重要な実践的な  
であります。これによつて子どもは対人関係のあり方を自然に  
覚えて来るのです。学校の友達はお隣の友だちと違い、ほぼ同  
年令で異なつた地域に住んでいる事が多いですから互に言葉を  
交換し話題も豊富です。それだけ影響される力も一層大きいで

すから時に仲のよい友だちは正しくえらんでやる必要がありま  
す。

勉強も子供が負担に感ずる程、やかましく云うよりは自然に子  
供が勉強したくなるような環境を作つてやる事の方が大切で  
す。この場合も同じですが他の子供と比較して云う事は、かえつ  
て反感をうえつけるだけで決して、結果にはなりませんから  
くれぐれも気をつけるべきだと思います。又学校で接身につ  
いたよい習慣を、知らないうちに家庭でこわしてしまふ場合が  
多にありますので特にお母様方は子供の気持を尊重して、かつ  
てに「これはこうだ」とおしつけない事です。例えば学校の家  
庭生活指導で男の子も女の子と同じように家庭的な事に関心を  
持ち、お掃除やお洗濯に興味を持ちはじめると家に帰つて男の  
子がやるべきではないといわれまふと次第に家庭科に対する興  
味を失つてしまひます。

学校でも家庭でも自立の精神を養ふ為、一年生になつて今迄  
より少し大人になつたという自覚をもたせ、まわりの人もそう  
いう態度で接するように致しましょう。

以上小学校入学前、或いは入学校の注意を案のついた所だけ  
述べて見ましたが前にも申し上げましたように、入学という大  
切な時期を不安なく迎え、のびのびと言つて行く事が出来、楽  
しい学校生活が続けて、けるように気をつけて上げましょう。

(畠 納 澄 子)

あまり肥沃な土地になると、蔓が過度に發育して、花が不良と  
なつて着花率が低くなる。留つた果実もなかなか肥大せず、熟  
期もおくれる。又そのため蔓がますます發育して、蔓だけ収穫  
するといふ結果にもなりかねない。

2 遅熟適期、日本南瓜はかなりの短日性のものである。即ち日  
長の短い期間は雌花がよく着生し、段々夜に向つて、日長が長  
くなるとなかなか雌花が着生しない。それで一月頃より育苗す  
るのが有利であるが、温床設備がなければ無理である。しかし  
直播するにしても、出来るだけ早く播種し、ビニールなどで上

燥、多湿などで不適地となることはない。要するに蔓の發育が  
適宜であれば良いのである。土地があまりやせ、蔓の、發育  
度あまり貧弱な場合には成績は極めて悪い。適地では蔓の弱  
育が適宜で果実も大きく、着花率も高く、収量も多い。しかし